



# 第16回 童謡を歌う会の準備スタート

第1回 実行委員会 9月12日(水)

開催日：20年1月30日(水)午後1時半開演

第15回と言う節目の会が無事終了し、ほっとしたのがつい昨日のように思える今日この頃なのに、暑く夏が過ぎたらもう実行委員会が目の前に迫っていました。これまで実行委員会として例年協力いただいていた会員さんの中にも、様々な事情を抱えている方が少しずつ増えていきます。また、委員を引き受けてくださっている会員も、15年という年月をお互い感じるお年頃です。なかなか無理が効かなくなっています。そんな中、頼れるお仲間の「いでたち」さんがスタートから参加してくださっています。また、手話ダンス「レインボー」の代表お二人と、ソリストのお二人にも最初から実行委員会に加わっていただけなど、厚い布陣を敷くことができ、心強いスタートとなりました。第1回の実行委員会ではテーマが決まりました。それは「あなた

**10月5日(金)**  
**栄区シニアクラブ連合会**  
**第12回 福祉大会参加**



が主役！」です。会場のお客様お一人お一人が主役であることを再確認できるような企画を意識したいと思います。また、実行委員全員に歌いたい歌を一曲ずつ提案してもらい、候補曲としました。これをベースに、出演協力者などとの話し合いを進めます。今後、実行委員は役割ごとに準備を進めていきますが、たんぽぽにとっては年間を通して最大イベントですので、他の多くの会員にも積極的にご協力いただきましたと思います。8面に掲載している、工房作業日に様々な準備をすることが多くなります。ご都合のつく方はいつでも大歓迎です、どうぞよろしくお願いたします。

栄区シニアクラブ連合会主催の「福祉大会」に今回も、たんぽぽ会員九名が参加させていただきました。会場のみなさんと一緒に歌い、一緒に遊びました。当日は秋晴れの爽やかな一日となり、栄公会堂は多くのお元気なみなさんで一日中賑わっていたようです。そして、各地区からの代表選手が日舞やカラオケなど、日頃の練習の成果を思う存分発揮されていました。

予定通り11時からは式典となり、高山会長の挨拶のあと、福祉功労者・団体の表彰がおこなわれました。

その次が特別参加という形でさんぽみち、たんぽぽ、朗読の三組が出演しました。私達は、いつものように「朝はどこから」「幸せなら手をたたこう」「ドレミの歌」の3曲を会場のみなさんと一緒に歌いましたが、会場のノリが大変良く、特にドレミの歌の時は、ほとんどのみなさんがニコニコしながらしつかり手振りをしてください、遣り甲斐がありました。

第16回童謡を歌う会のPRもしつかりさせていただきます。また公会堂でお会いしたいと思います。

## 一泊旅行の思い出

内海 六郎

今回、9月19・20日はピエロの日で始めてのお泊りバスハイクでした。行き先は、茨城県と栃木県の2県で比較的長距離なので、宿泊保養所は、栃木県障害者保養センター『那珂川苑』と言う場所です。19日は、栄区役所を出発東北常磐道路を利用し、茨城県つくば市の筑波宇宙センターの見学でした。



ロケットを背にポーズ

丁度昼食タイムなので混雑する社員食堂で準備されていた美味しい弁当を頂きました。その後、係員のガイドで展示室コーナーを案内され説明を受けました。戴いたパンフレットに「まめ知識」が載っており宇宙の不思議なロマンの世界に、ただ驚

嘆するのみでした。日本の頭脳集団（シンク・タンク）の人達がここに集結している国際的基地（研究所）だなど私は感じました。

那珂川苑は、山間部の中にあり落ち着いた保養所でした。

翌日20日は、小砂焼きの陶芸の里を見学「登り窯」や色付けなどの説明を受け、茶碗を求めました。オリジナルの陶芸品です。すから良い記念になりました。

猛暑の中、昼食は道の駅「レストランばとう」でメン類を注文する会員が多かったようでした。平日にもかかわらず観光バスの団体客の多さに驚きました。

また、最終見学は馬頭広重美術館でした。歌川広重の貴重な肉筆や歌川派の浮世絵、小林清親を中心とした明治版画、川村清雄の作品など日本が世界に誇る文化や芸術・浮世絵を見学出来ました。帰りは東北縦貫道路を使用し、一路横浜へ走り出ました。皆元気で楽しい思い出づくり出来たことと、私にとつては本当に有意義な一泊旅行でした。今後もしよろしく願います。

「筑波山 色づき初めて

バスの旅」

（協力ボランティア） 平野 弘

今回、斎藤さんのお誘いで「ピエロの日バスハイク」に参加させてください。皆様と親しく二日間を過ごすことができました。有難うございました。

斎藤眞人さんとの最初の出会いは約45年前、若いサラリーマン二人の仕事上の知人でしたが、その後約30年の時を経て、お互いに定年を迎え、失業給付金をいただく年回りとなり、或る日職安（現ハローワーク）で受け付け待ちの熟年男二人がばったり顔を合せ、斎藤さんの身体の不具合を知る再会となった次第で、お付き合いも再開されました。

閑話休題、日頃社協で送迎ボランティアとして障害者の方々と一緒にいるもの、やはり一泊旅行でなければわからない皆様のご苦労と不自由さを改めて見聞・体験することができて、とても有意義なツアーでした。



小砂焼の登り窯 とても立派でした

印象に残った三ヶ所の見学先、そして驚いたのは皆様のバスでのカラオケにかける熱意。その熱気に当てられ私はフラフラになりました。

この旅行を企画・運営された幹事の方々が良く練ったプランニングに拍手。有難うございました。

根本 節子

ピエロでの泊りがけのレクリエーションは、初めてでありましたので大変心待ちにしておりました。その当日は、秋には程遠い暑い夏日の様でした。

つくば宇宙センター、広重美術館、小砂焼見学と興味深い所ばかりでした。つくば宇宙センターは、53万平方メートルという、広大な土地にあり宇宙飛行士の養成なども行っており、普段では見る事の出来ない物ばかりで感動し、貴重な体験を致しました。馬頭へは、わたくしの実家の近くという事もあり、幾度か足を運んだ事はありましたが小砂焼は初めて知りました。つややかで色も鮮やか、大変気に入りました。又、いつの日か伺い、揃えていきたいな...と思っております。バスでの楽しい旅行も暑い夏日のような日も忘れぬ思い出となりました。

# ピエロの日 初めての一泊旅行は絶好調だったよ

9月19日(水)~20日(木)

筑波宇宙センター ~ 小砂焼窯元 ~ 馬頭広重美術館

宿泊 栃木県那珂川苑



那珂川苑 ロビーにて  
これからバスに乗って  
元気に出発だー!

## 「ピエロの日」の 旅行に参加して

杉山 忠弘

秋の爽やかな朝、9月19日私は栃木県那珂川苑へ「ピエロの日」のバス旅行に参加しました。参加者はピエロの仲間と支援者たちで総勢33名です。区役所に集まり定刻に発車、荒川と利根川を渡り、途中筑波宇宙センターに立ち寄り見学、ロケットの大きさに圧倒され、また宇宙服の重さが一二〇キロ、船外活動では太陽光熱が一二〇度、また日陰はマイナス一二〇度とか。無重力と過酷な環境を学び、宿泊先の那珂川苑に直行しました。

翌日は馬頭広重美術館で広重の原画に接し、美術の秋を楽しみ、帰途のバスの中は、正にカラオケホールでした。

みなさんの健康の秘訣が「カラオケ」であることを知りました。旅行では大森代表はじめ、役員の皆様の企画力、そして気配りに感嘆した次第です

# 災害時要援護者の

# 避難支援システム

## 21年度から

## スタート予定

・概要のみ掲載

日本で、世界で、大地震が相次いで発生し、多くの被災者が苦しんでいます。このような自然災害に対して、人間は大変弱い存在になってしまいました。

ましてや、高齢者や障害のある人達などにとっては自分自身を守るすべも限られ、どうしても周囲の様々な支援が必要ですが、しかし、個人情報保護のため、どこにどのような援護を必要としている人がいるのか、はっきりしない・・・と言うのがこれまでの状況です。

そこで、「災害時要援護者の避難支援システム策定の手引き」を作成し、その中で、要援護者の個人情報保護について、現行「横浜市防災計画」での市民への非開示の原則を変更しました。

すなわち、本人の同意を得て、積極的に要援護者情報を開示、提供するとしました。

### 横浜市の避難システムの基本

主体は平常時から在宅援護者への声かけ、見守りを行っている地域組織の取り組みであり、区はその地域の活動を行政責任として積極的に支援する。

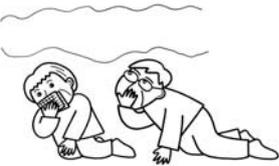
### 作成の手順

- (1)ダイレクトメール等での要援護者本人の同意・不同意の確認  
〔本人の意思表示が困難な場合は家族〕
- (2)基本情報を地域組織へ提供
- (3)民生委員の戸別訪問等〔現況調査で個別情報を聴取〕
- (4)個別支援プランの作成

### 地域の要援護者台帳の内容

\*同意者の提供された基本情報

- (1)住所又居所
  - (2)氏名
  - (3)性別
  - (4)生年月日
  - (5)電話番号
  - (6)緊急連絡先
- \*この情報と個別情報を合わせて個別支援プラン作成



### 要援護者情報の収集・共有方式

(内閣府ガイドラインによる定義)

#### (1)関係機関共有方式

要援護者本人から同意を得ずに、関係機関等の間で共有する方式。

#### (2)手上げ方式

要援護者登録制度の創設について、広報・周知した後、自ら要援護者名簿等への登録を希望した者の情報を収集する方式。

#### (3)同意方式

防災関係部局、福祉関係部局、自主防災組織、福祉関係者等が、要援護者本人に直接働きかけ同意を得た上で、必要な情報を収集する方式。

### ・横浜市での

#### 災害時要援護者の定義

- (1)介護保険の要介護度三以上  
〔重度の介護を要する立上りがりや、歩行等が自力でできない方〕の居宅で生活する方
- (2)介護保険の要支援以上で一人暮らしの方、いずれもが要支援以上の高齢者のみ世帯、その他、日中一人暮らし高齢者

などで、避難支援を希望する

(3)認知症のある方〔認知症高齢者の日常生活自立度二以上の方〕

(4)障害者自立支援法に基づく障害程度区分認定者又は視覚障害者・聴覚障害者については身障手帳一〜三級の方、支援を希望する障害児

(5)難病患者等の在宅療養者〔人口呼吸器、酸素供給装置等を使用している方〕

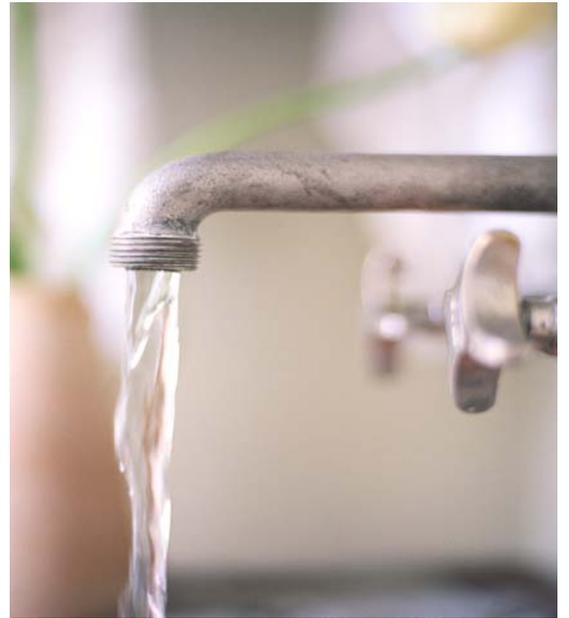
(6)その他居住外国人、乳幼児、妊産婦など



### ・栄区の今後のスケジュール

- ◆ 19年度・モデル同意方式として、9月中に2地域を決定する予定。
- ◆ 20年度・モデル地域名簿を手渡す。
- ◆ 21年度・同意方式より開始。

## 生活排水を考えたこと



## ありますか？（その1）

◇普段、何気なく使用している台所やトイレから流れ出る生活排水（汚水）は、自宅を出て、何処を、どのようにして、何処にたどりつくのか、なくんて考えながら台所やトイレを使用する人はあんまりいないのではないのでしょうか。

◇結論から言いますとそれらの汚水は、水再生センター（以前は下水処理場と言いました）できれいに処理されて海や川に放流されています。

基本的には、住宅や団地から排水された汚水は先ず自宅の排

水管を通り道路の下に埋設されている下水管に流れ込みます。栄区内をくもの巣のように張り巡らされている下水管はわずかに傾斜をつけて汚水が流れやすいように設計され、その高低差を利用して（液体の自然流下と言うそうです）水再生センターにたどり着く仕組みになっています。

◇水再生センターにたどり着いた汚水は、センターの一番深いところ（沈砂池・ポンプ設備）に入り、ここで大きなゴミや砂が取り除かれてからポンプで次の部屋（上の方・最初沈殿池）

に送られます。

ここで汚水に含まれているさまざまな浮遊物はゆつくりと沈み、うわ水だけが次の処理槽（反応タンク）に送られます。池底に沈んだ浮遊物（汚泥）は汚泥資源化センターに送られます。◇うわ水だけが送られてきた反応タンクは、汚水処理のまさに中心的な働きをする所です。

汚水の汚れ（有機物・窒素・りんなど）は活性汚泥（微生物のかたまり）と共に空気を吹き込んだり機械で攪拌したりして活性汚泥のエサとなつて取り除かれます。

◇汚れた水をきれいにするのは微生物の働きによるものなので、反応タンクの中で行われている微生物の働きをいかに効率よくするか、それが、ここで働いている職員の人達にとつて、とても重要な仕事のようにです。

次の最終沈殿池では、活性汚泥は集りながらゆつくりと沈み、うわ水が次の消毒施設に移りま



◇消毒施設では最終沈殿池から送られてきたうわ水を消毒してきれいにしてから川や海に返しています。

◇文字にすると、これだけですが、水再生センターで働いている職員の方たちは二十四時間体制で、台風や大雨に備えて働いています。

◇汚水処理の仕組みについてはまだまだ多くの苦労があるようですが、朝起きて生活排水を流す時に「この水は何処を流すか」どこにいくのかナク」などと考えるのも、ちよつと前進かもしれません。





◆ 10月13日(土)

ふれあい運動会開催

今年も、桂台中学校を会場に約650名が集合し、文字通り、ふれあい目的の運動会がおこなわれます。区内の福祉施設や当事者団体のみなさん、区内7校の中学校から募集に応じた生徒のみなさん、民生・児童委員、ボランティア団体などが力を合わせて盛り上げます。たんぼぼからも10名ほど参加します。近くの会員さん、どうぞ応援にきてください。

◆ 上郷苑「夏まつり」

中止になり残念！

8月25日開催予定だった上郷

苑夏まつりは、お年寄りの体調不安のため中止となりました。今年は大変な暑さで、高齢者でなくても体調を崩す人が多かったようです。連絡が行き渡らなかつた為、当日施設に行つて初めて中止が分かつた会員もいました。ごめんなさい。

◆ 9月6日(土)

旧矢沢小学校防災訓練に参加

区内の地域防災拠点では、それぞれ日程を決め防災訓練がおこなわれます。たまたま旧矢沢小学校の防災訓練に参加し、色々勉強し、体験しました。

防災はひとりひとりの意識の問題です。組織としてしっかり機能するためには、個々人が自分のこととして認識し、実践することが大切であることを改めて考える機会になりました。



◆ さかえ区民活動センター

気軽にサタデーサロン開催

センター自主企画事業の第2弾として、土曜日の午後3時半から5時の時間帯で、様々なサロンがおこなわれます。

\* 10月13日

場を和ませる面白い

レクリエーション

\* 10月20日

あこのろの歌コンサート

\* 10月27日

カラーセラピー

\* 11月10日

バリ舞踊

各回40名 申込(894)9900

◆ 11月17日(日)

区民まつり開催 10時〜

秋の恒例行事「区民まつり」が本郷中学校で開催されます。社協としては、いつもの「ぼらんていあ村」をオープンします。もちろん、たんぼぼも参加し、簡単なのに素敵な工作を来場者に提供し、活動PRをしながら、多くの人達とのふれあいを楽しめる内容にしたいと思っています。



干支(子)押し絵 申し込み受けます

- \*大 材料 1000円 出来上がり 1200円  
(全体で200になり次第締め切りです)
- \*小 出来上がり 500円 (50限定です)

大森まで 工房や各活動でまとめて  
連絡くださると助かります。直接もOKです。

# ピエロの日物語

みんな作品づくり  
に夢中です。  
さあ、何が  
できるのかな？

みんなでテーブルを覗き込んで一心不乱に作業をしている写真、どう思います？

10月3日(水)、急に秋らしくなつて、半袖から長袖になり、もう1枚上着がほしい、そんな陽気のデイサービスの日、朝の挨拶が終わり、作業開始と同時にほぼ一日中こんな雰囲気でした。

実は、11月半ばに開催される、シニアクラブ連合会の作品展に出展する作品に取り組んでいるのです。4グループ

に分かれて作り、最終的には大きな一つの作品となります。



まずは、モデルの風景画を4等分してグループごとに下絵を台紙に書き、下地の準備をしました。

絵を仕上げている材料は新聞の折り込みチラシ、みんな丁寧がちぎって、絵画の色に合わせ分類していきます。なかなか根気の要る作業ですが、おしゃべりを楽しみしながらも真剣です。

今日は台紙にちぎった紙を張り始めました。「そこそこ、もうすこし右」「ここはこの色の方がいいよ」「隣のグループと継ぎ目が合わないよ」などの会話が飛び交う中、作業手順もだいたい慣れてきました。あと3回の作業日を予定していますが、出来上がるのがとっても楽しみななってきました。

展示期間は11月15(木)・16(金)・17日(土)の3日間、栄公会堂2階です。

また、同時に「しゃべり場とまと」の皆さんの素晴らしい作品群も展示します。

会員の皆様、ぜひ足を運んで自分の目でその力作をご覧くださいと思います。

## 童謡を歌う会の

### 曲目も決めたよ

昼食後、30分ほどの時間の中で、来年1月30日開催の童謡を歌う会、「ピエロの日」のステージ曲を決めました。

いつものように4グループが1曲ずつ受け持つスタイルが進めます。今回は日本の昔話を題材にしますが、選曲したとたん、少しの時間の中かなり話が進んだグループもあるようです。

毎年の積み重ねがここまで先を見る力と段取りの良さを身に付けさせることに改めて「継続は力なり」と言う言葉を実感しました。

作品づくり、そして童謡を歌う会の準備と練習、その合間にゲーム、調理、ミニコンサートなど盛りだくさんのプログラムで大忙しです。

# たんぽぽの活動インフォメーション

たんぽぽホームページ <http://sakae-tanpopo.com>

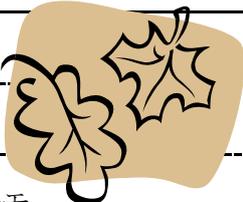
【たんぽぽ工房 日程】 \* 場所は福祉保健活動拠点（社協） \* 終了時間は予定です

月 日	時 間	部 屋	月 日	時 間	部 屋
10月12日(金)	10時～15時	研修室	10月26日(金)	10時～15時	研修室
11月2日(金)	10時～15時	研修室	11月30日(金)	10時～15時	研修室
12月7日(金)	10時～15時	研修室	12月14日(金)	10時～15時	研修室
1月18日(金)	10時～15時	研修室	1月21日(月)	10時～15時	研修室
2月22日(金)	10時～15時	研修室	2月29日(金)	10時～15時	研修室

\* 当日は工房作業以外にも、他の活動（綿毛・ピエロの日・クロスハートなど）の準備作業をすることがあります。簡単な作業内容ですので、ご協力をお願いします。

\* 誰でも参加できます。また、短時間でも大丈夫ですので、ぜひ遊びにきてください。

10月～12月 主な予定（定期的な活動でも、すべてを掲載していません）

10月10日・水	活動チーフ会 童謡・実行委員会		10月19日・金	とまと
10月12日・金	とまと		10月22日・月	みどり会・喫茶 防災ボランティアネットワーク定例会
10月13日・土	ふれあい運動会(桂台中学校) 午前10時～		10月25日・木	ゆたか会 ようこそ・であい広場実行委員会
10月16日・火	ぐる～ぶなのほな		10月26日・金	とまと
10月17日・水	ピエロの日 たんぽぽ喫茶・すぺーすモモ		10月29日・月	わ～くらぶ・さかえ運営委員会 喫茶
10月18日・木	クロスハート菜・横浜 プログラム協力		10月30日・火	みどり会(バスハイク)
11月 2日・金	とまと		11月17日・土	区民まつり 15日～17日 シニアクラブ連合会作品
11月 5日・月	喫茶 公田山百合会		11月19日・月	喫茶 ボランティア・市民活動団体分科会
11月 7日・水	ピエロの日 喫茶・すぺーすモモ		11月20日・火	ぐる～ぶなのほな
11月 9日・金	とまと		11月21日・水	ピエロの日 喫茶・すぺーすモモ
11月14日・水	運営委員会 童謡を歌う会実行委員会		11月22日・木	ゆたか会
11月15日・木	クロスハート菜・横浜 プログラム協力		11月26日・月	みどり会(押し絵) 喫茶
11月16日・金	とまと		11月30日・金	ピエロの日スタッフ会 とまと
12月3日・月	喫茶 公田山百合会		12月7日・金	とまと
12月4日・火	栄区福祉大会		12月10日・月	喫茶
12月5日・水	ピエロの日 喫茶・すぺーすモモ		12月12日・水	活動チーフ会・綿毛96号発行 童謡を歌う会実行委員会

